

授業科目名	【G】 特殊講義(刑事政策)	区分 選択	開講年次	【G】2	単位数	【G】2		
科目区分	専門科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	刑事政策の基本事項を学ぶ			担当者	百花草 浩治			
授業概要	【概要】	刑事政策の基本事項について、指定教科書をもとに概説するとともに、近時の刑事立法を含めて、我が国の刑事政策の動向についても講述する。 なお、①予習・復習のやり方、②小テスト等の準備の仕方、③ノートの取り方等についての「授業への取り組み方」については、第1回目の講義において、詳しく説明するので、必ず出席すること。						
	【到達目標】	刑事政策の基本事項全体を一通り理解することを最低限の目標とする。また、各自の関心を持ったテーマについて、掘り下げた検討を各自が行うことが出来るようになることが、次の目標である。						
履修条件	特になし。ただし、第1回目の講義に必ず出席すること。							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【○】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連性	【刑事法関係の開講科目】刑法概論を受講のうえ、刑法(総論)Ⅰ・Ⅱ、刑法(各論)Ⅰ・Ⅱ、刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱを受講されたい。ただし、その順序は問わない。ほかに、情報法Ⅰ、特殊講義(特別刑法Ⅰ・Ⅱ)と講義内容において密接に関係する。							
教科書	川出敏裕＝金光旭『刑事政策』(成文堂)の最新の版、犯罪白書、警察白書							
参考書	大谷實『刑事政策講義』弘文堂、守山正ほか編『ビギナーズ刑事政策』成文堂、守山正ほか編『ビギナーズ犯罪法』成文堂、藤本哲也『よくわかる刑事政策』ミネルヴァ書房、前田忠弘ほか『刑事政策がわかる』法律文化社、武内謙治ほか『刑事政策学』など。							
評価方法	小テスト[複数回実施]の合計点で評価する。							
フィードバック方法	①小テスト実施後に、全体的な状況についての「講評」を公開する。 ②講義内容に関する質問等は随時、受け付ける。必要に応じて、講義でもそれに触れる。							
評価基準	原則として、少なくとも10回以上の「出席」を単位認定の前提とする。上記授業内容について、これをよく理解し、適切に表現できた者には、その程度に応じて「S」または「A」を与える。授業内容についての理解度や表現内容に十分ではない点がある者は、その程度に応じて「B」または「C」とし、授業内容についての理解自体が最低限度の水準に達していない者は、その程度に応じて「D」または「E」とする。小テストを全く受けていないなど評価不能な場合には「F」とする。							

授業科目名	【G】 特殊講義（刑事政策）	区分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
		選択				
授業回数	授業内容					
1	イントロダクション(講義全体を通じて何を学ぶのかについて説明する)、刑事政策を学ぶ意義 予習: 教科書全体の通読。 復習: 講義内容の確認。教科書の該当ページ、配布資料を再読する。					
2	犯罪の情勢、『犯罪白書』・『警察白書』を見ながら 予習: 教科書の該当ページ、配布資料を読む。 復習: 講義内容の確認。教科書の該当ページ、配布資料を再読する。					
3	死刑について 予習: 教科書の該当ページ、配布資料を読む。 復習: 講義内容の確認。教科書の該当ページ、配布資料を再読する。					
4	自由刑、犯罪者の施設内処遇について 予習: 教科書の該当ページ、配布資料を読む。 復習: 講義内容の確認。教科書の該当ページ、配布資料を再読する。					
5	罰金刑、その他の刑罰について 予習: 教科書の該当ページ、配布資料を読む。 復習: 講義内容の確認。教科書の該当ページ、配布資料を再読する。					
6	執行猶予・仮釈放・保護観察・更生保護について 予習: 教科書の該当ページ、配布資料を読む。 復習: 講義内容の確認。教科書の該当ページ、配布資料を再読する。					
7	犯罪被害者の保護と支援について 予習: 教科書の該当ページ、配布資料を読む。 復習: 講義内容の確認。教科書の該当ページ、配布資料を再読する。					
8	犯罪予防について:概説 予習: 教科書の該当ページ、配布資料を読む。 復習: 講義内容の確認。教科書の該当ページ、配布資料を再読する。					
9	少年非行・少年犯罪と少年法 予習: 教科書の該当ページ、配布資料を読む。 復習: 講義内容の確認。教科書の該当ページ、配布資料を再読する。					
10	高齢者と犯罪 予習: 教科書の該当ページ、配布資料を読む。 復習: 講義内容の確認。教科書の該当ページ、配布資料を再読する。					
11	組織犯罪・薬物犯罪 予習: 教科書の該当ページ、配布資料を読む。 復習: 講義内容の確認。教科書の該当ページ、配布資料を再読する。					
12	交通犯罪 予習: 教科書の該当ページ、配布資料を読む。 復習: 講義内容の確認。教科書の該当ページ、配布資料を再読する。					
13	外国人と犯罪 予習: 教科書の該当ページ、配布資料を読む。 復習: 講義内容の確認。教科書の該当ページ、配布資料を再読する。					
14	ファミリー・バイオレンス、性犯罪 予習: 教科書の該当ページ、配布資料を読む。 復習: 講義内容の確認。教科書の該当ページ、配布資料を再読する。					
15	最後の小テスト、全体のまとめ 予習: 教科書全体を改めて再読する。授業ノートの確認。 復習: 教科書全体を改めて再読する。授業ノートの確認。					
その他	教科書、配布資料、最新の六法を必ず持参すること。【受講上の注意】正当な理由のない、遅刻および途中退室後の再入室は認めない。私語、携帯電話の使用は禁止する。その他授業を真摯に受けようとする意思の認められない学生については、退室を命じる場合がある。 授業ごとの予習・復習時間は、各90分程度を目安としてください。					